

レジメンと主な副作用の指導内容

☆治療スケジュール (MA)

時間	薬品名	用量				
30分	グラニセロン バッグ (吐き気予防)	3 mg/袋	○	○		
2時間	メソトレキセート	[200mg/m ²] mg	○			
22時間	メソトレキセート	[800mg/m ²] mg	○			
1ヨット	ロイコボリン (メソトレキセートの 副作用軽減)	15 mg			○ ○	○ ○ ○
30分	グラニセロン バッグ (吐き気予防) ソル・コーテフ (シタラビンの副作用予防)	3 mg/袋 100 mg			○ ○	○ ○
2時間	シタラビン	[3000mg/m ²] mg			○ ○	○ ○
24時間	メイロン ソルテム3A (尿量確保、腎保護)	160 mL 2000 mL	○	○	○	○

☆内服薬

薬の名前	薬効	内服期間
ダイアモックス	利尿剤	/ ~ 開始
フルメトロン点眼	シタラビンによる 結膜炎予防	/ ~ / 3日間 1日4回

★ 水分の点滴とロイコボリンは検査の結果次第で継続することあります。

★ 指示があるまで、バクタ、フロセミド注/錠、ロキソプロフェンは投与禁止

☆副作用について

- **腫瘍崩壊症候群 (当日～)**
急激な細胞の崩壊により腎障害などをきたすことがあります。
- **シタラビン症候群**
投与6～12時間後に発熱、筋肉痛、骨痛、皮疹、結膜炎などが起こることがあります。
予防のためにステロイドの内服投与、点眼をします。
- **吐き気 (当日～)**
- **味覚異常、臭覚過敏 (当日～)**
- **便秘 (当日～)**
- **口内炎 (1～2週間ごろ)**
普段からうがいなどで口の中をきれいに保ってください。
- **下痢**
腹痛や1日4回以上の下痢、水様便、夜中に下痢が継続する場合はお知らせください。
- **中枢神経障害**
- **腎障害**
メソトレキセートの排泄を促す治療(水分の点滴投与やロイコボリン投与)を行います。
- **骨髄抑制 (3～4週間)**
白血球、赤血球、血小板など血液成分が減ることがあります。
→白血球減少時は感染症にかかりやすくなりますので、手洗い・うがい・マスク着用を心掛けてください。値によっては増やす薬を使用することがあります。
→赤血球減少時は貧血症状が起こりやすくなり、血小板減少時は血が止まりにくくなります。
赤血球・血小板減少時は輸血が必要になることもあります。

☆注意事項

- ※現れる副作用は個人差があります。上記の副作用以外にも気になる症状が現れた場合は相談してください。
- ※抗がん剤投与中に点滴・注射部位が痛んだりはれたりした場合はすぐにお知らせください。
- ※特に点滴のある日は、無理のない程度に水分の摂取を心掛けてください。
- ※血液検査の結果や副作用の現れ具合によってお薬が延期・減量・休薬・中止になる場合があります。